

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3\_経済・雇用】

施策 3-2\_商業の振興

	基本計画	事業番号	細事業名称
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07053_02	商店街活性化事業補助金(新居浜商店街)
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07053_03	商店街活性化事業補助金(喜光地商店街)
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07053_06	はまさい開催事業補助金
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07053_12	百縁笑店街&さんさん産直市開催事業補助金
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07090_01	中心市街地活性化対策事業
3-02-02	経営基盤強化・創業への支援	07200_01	創業支援補助金
3-02-02	経営基盤強化・創業への支援	07232_01	緊急小口融資制度利子補給金
3-02-02	経営基盤強化・創業への支援	07232_03	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給金

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07053_02		
事業名(行目名称)		商店街活性化対策費	細事業名	商店街活性化事業補助金(新居浜商店街)			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116,052人			
	手段(どうやって)	毎年、より多くの方に喜ばれる内容に改善しながら夏まつりを継続開催している。特に、H22年度からは、市内各地区や近隣市の協力を得ながら、「にっぽんの男祭」をテーマにおいて夏ならではの太鼓台パフォーマンスを繰り広げ、集客数の増を図っている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	イベント時の賑わいを商店街の活性化につなげていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,425千円	
経費			1,425	1,425	1,217		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他		600	600	0		
	一般財源		825	825	1,217		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
参加者数		目標値	0	30000	10000	10000	10000
		実績	0	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点	妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等	事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症拡大における影響にて、直前まで開催の準備をしていたが、イベント事業については、取りやめた。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)	予算の方向	現状維持					
夏の風物詩として市民のみなさんにも周知されているイベントであり、中心商店街のにぎわいの創出に寄与しているため、継続して事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
新型コロナウイルス感染症拡大における影響にて、事業を取りやめたが、夏の風物詩として市民のみなさんにも周知されているイベントであり、中心商店街のにぎわいの創出に寄与しているため、継続する。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07053_03			
事業名(行目名称)		商店街活性化対策費	細事業名	商店街活性化事業補助金(喜光地商店街)				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興				
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116,052人				
	手段(どうやって)	市民に喜ばれるイベントの企画や運営に対する補助金の支出						
	目的(どんな状態にしたいのか)	憩いとふれあいの場を市民に提供することにより、市民に親しまれる商店街づくりを行い、沈滞する商店街の活性化、イメージアップを図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費			665	0		○負担金補助及び交付金 665千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他		330	0				
	一般財源		335	0				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
参加者数			目標値	6500	0	5000	5000	5000
			実績	0	0	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
今年度は新型コロナウイルスの影響で喜光地夜市・稲荷市ともに開催していない。主催する喜光地商栄会の会員数の減少、高齢化が進んでいる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
地元商店街の賑わい創出に大きく寄与する事業であるため、今後も事業を推進する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け開催しなかったが、地元商店街の賑わい創出のために継続して支援を行っていく必要がある。併せて、主催団体の会員減少、高齢化等の課題と向き合っていく必要がある。								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07053_06			
事業名(行目名称)		商店街活性化対策費	細事業名	はまさい開催事業補助金				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興				
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116,052人				
	手段(どうやって)	「はまさい」を継続開催し、新居浜市商業振興センターを中心に各種イベントを開催することによって、商店街に人の歩く動線を形成する。また、新居浜市商業振興センターを会場として、近隣の農業後継者グループ、全国の商店街とのネットワークを活かして、現在の中心商店街に不足している野菜や魚、精肉等、生鮮食品を扱う市場を、モデル開設する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域の様々な団体が協力して、商店街活性化をめざしていくとともに、生鮮市場のモデル開設等自主企画の実施により、新居浜市商業振興センターの有効活用が図られる。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,900	1,900	1,900	1,900	○負担金補助及び交付金 1,900千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,900	1,900	1,900	1,900			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
参加者数			目標値	30000	30000	30000	30000	30000
			実績	10000	10000	0	10000	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向						
商店街エリアのにぎわい創出のため、銅夢キッチンを中心として、イベントを開催予定。多くの市民の方に商店街に来場してもらうため、TURETECHで提案されたアイデアも取り入れ、新しい取り組みができるよう準備を進める。商店街の賑わい創出のため、試行錯誤を重ねながら、イベントを実施に向けて協議している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
中心商店街のにぎわいの創出に寄与しているため、継続して事業を実施する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
「銅夢キッチン」を中心としたイベントを実施し、商店街エリアの活性化を図るため、行政として今後も継続的に活動を支援する必要がある。								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07053_12		
事業名(行目名称)		商店街活性化対策費	細事業名	百縁笑店街&さんさん産直市開催事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116,052人			
	手段(どうやって)	百縁笑点街&さんさん産直市開催のための経費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	魅力的な商品や市民参加型のイベントを充実・拡充させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 950千円	
経費		950	950	950	950		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	950	950	950	950		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
参加者数		目標値	36000	36000	36000	36000	12000
		実績	12000	20000	15000	27500	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度は、7月のみ新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催を中止。毎月、工夫を凝らした内容で集客を図り賑わい創出に寄与している。今後も継続的な取組により、更なる集客を期待したい。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
商店街の賑わい創出には欠かせないイベントであり、事業を継続する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、7月は開催を中止し年11回開催した。毎月、イベントの趣向を凝らして、集客に取り組んでいる。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07090_01		
事業名(行目名称)		中心市街地活性化対策費	細事業名	中心市街地活性化対策事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜商店街連盟会員		数値	49者		
	手段(どうやって)	新居浜市、新居浜商工会議所、新居浜商店街連盟の3者による新居浜市まちづくり協議会を開催し、今後商店街の活性化策の検討を進めていく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市まちづくり協議会を立ち上げ、実効性の高い活性化策の協議・検討を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	400	400	100	○負担金補助及び交付金 400千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	400	400	100		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
(中心商店街への出店件数) まちづくり協議会開催回数		目標値	3	3	4	4	4
		実績	1	0	2	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
中心市街地の活性化対策の市としての成果を図るものとして、令和4年度以降、成果指標を変更。令和3年度まで「中心商店街への出店件数」令和4年度以降「まちづくり協議会開催回数」まちづくり協議会において、今後の中心商店街活性化のための議論が必要。商店街の核となる銅夢キッチン の在り方についても、協議を重ねる必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
商店街エリアの在り方の検討、商店街の活性化策を検討していく必要があるため、事業を継続する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
中心商店街の活性化のため、関係機関との協議・検討が必要であり、今後も継続する。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	07200_01		
事業名(行目名称)		創業支援対策費		細事業名	創業支援補助金			
総合 計画	まちづくり	経済・雇用		施策	商業の振興			
	基本計画	経営基盤強化・創業への支援		担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	創業者		数 値	-			
	手 段 (どうやって)	1年以内に、市内で創業した中小事業者に対し、事業の初期投資にかかった経費の一部を補助する。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	創業者の事業継続						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		13,441	8,962	8,962	7,002	○報償費 48千円 ○旅費 14千円 ○負担金補助及び交付金 8,900千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	13,441	8,962	8,962	7,002			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
創業支援補助金による支援件数			目標値	10	10	5	10	10
			実績	5	30	3	16	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症拡大の影響も少し受けながら、令和3年度初めから増加傾向にあった相談・申請件数も、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大と社会経済活動の両立とともに、落ち着きつつあると見受けられる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
平成28年度から本制度の運用が開始され、令和3年度末までに109件の支援を行ってきた。これまで、女性創業者に対し補助金額を増やし、手厚い支援を行ってきたが、令和3年度末までに創業支援補助金申請者のうち、女性は約半数を占めており、女性起業家支援も一定の成果を得たと感じている。また、転入者創業支援について、補助金額を増やし手厚い支援を行ってきたが、平成30年度から移住定住推進のための部署が設置され、各種支援策を実施している。令和5年度に向けて、過去の創業者の現状を把握し、制度の見直しを検討する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	B:事業の進め方の改善検討					
令和4年度は16件の申請を受付し、補助金を交付した。前年度に比べ件数は減少したが、スタートアップ支援の重要性は変わらない認識であり、今後も補助を実施する。令和5年度より、内容の一部見直しを行い、新たな制度で支援を行っていく。								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07232_01		
事業名(行目名称)		新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策費	細事業名	緊急小口融資制度利子補給金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	経営基盤強化・創業への支援	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内事業所(民間)	数値	4977事業所			
	手段(どうやって)	市内金融機関との連携により中小企業等のつなぎ融資を簡素化・迅速化し、利用者のニーズに応える。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	中小企業者が負担すべき金利を市が全額負担することで、利用者負担の軽減をはかる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,764	3,659	3,659	3,470	○負担金補助及び交付金 3,659千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,764	3,659	3,659	3,470		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
利子補給率(%)		目標値	0	100	100	100	100
		実績	0	100	100	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
中小企業者が負担すべき金利を市が全額負担することで、利用者負担の軽減が図られている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた融資利用者の負担軽減を図るため、事業を継続する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症拡大や燃料高騰の影響を受ける融資利用者の負担軽減と事業継続が図られるため、今後も継続する。							



## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07232_03		
事業名(行目名称)		新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策費	細事業名	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	経営基盤強化・創業への支援	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内事業所(民間)	数値	4977事業所			
	手段(どうやって)	「県独自枠」に係る金利1.0%を県と市町が1/2ずつ補給し実質無利子とする。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者の資金繰り支援(実質無利子)の実施し、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた中小企業者の支援する					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		18,637	19,000	19,000	14,360	○負担金補助及び交付金 19,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	18,637	19,000	19,000	14,360		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
実質無利子(市負担分)率		目標値	0	50	50	50	50
		実績	0	50	50	50	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者の資金繰り支援するため、県と市町が1/2ずつ補給し実質無利子とすることで、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた中小企業者の支援する。(R4.2.1~R5.1.31分)							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新型コロナウイルス感染症で影響を受けた市内中小企業者を支援するため、引き続き継続するが、3年を限度とするため、3年を超えた利子補給は行わない							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者の資金繰り支援(実質無利子)の実施し、県と市町が1/2ずつ補給することで、中小企業者の支援することができるため、今後も継続する。							